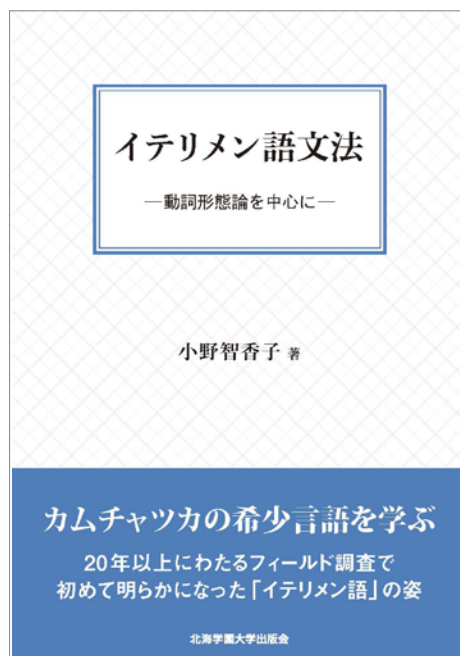




北海学園大学出版会



イテリメン語文法

—動詞形態論を中心に—

著者	小野智香子
判型	A5 版
ページ数	304
製本	上製本
発行日	2021 年 3 月 31 日
ISBN	978-4-910236-02-5 C3087
定価	本体 4,300 円 + 税

【内容紹介】

カムチャツカの希少言語を学ぶ

20 年以上に渡るフィールド調査で初めて明らかになった「イテリメン語」の姿

かつて広大なロシア・カムチャツカの地の大部分を占めていたイテリメン族。17 世紀には少なくともその人口は 1 万人と推定され、日本のアイヌとの交流もあったが、伝染病の流行などにより人口が激減、さらにロシア人が侵入して以降は、ロシア人との同化が進んだ。その結果、彼らの言語「イテリメン語」もまた衰退の一途をたどり、わずかにロシア人の言語学者により細々と研究が続けられているに過ぎなかった。

この希少言語に外国人が直接触れることができるようになったのは、1989 年のソ連崩壊以降のこと。本書の著者もまた、大学院生だった 1997 年、初めてカムチャツカに入る。

〈実際に話者たちが目の前で話すイテリメン語を初めて聞いたときの感動は、今でも忘れることができない〉（本書より）

それから 2015 年に至るまで 20 回もの現地フィールド調査を重ね、実際に話されているイテリメン語を録音し、フィールドノートに記録した。その貴重な 1 次資料をもとに、イテリメン語の文法を明らかにしたのが本書である。日本語で書かれたイテリメン語に関する本はほとんどなくまた従来の研究とは異なる新事実も提示されている。

言語の専門家はもちろん、人類の自然言語や先住少数民族の文化に興味がある人にとっても、本書の内容は知的なロマンと刺激を与えてくれるはずだ。

ちなみに 2021 年現在、イテリメン語を流暢に話せる人は、全世界で数人というところまで減少している。



【著者紹介】

小野 智香子（おの ちかこ）

1993年千葉大学文学部卒業，在学時にイテリメン語の研究を始める。千葉大学大学院文学研究科修士課程，同社会文化科学研究科博士課程，ゲオルグ・アウグスト大学ゲッティンゲン留学，マガダン国際教育大学外国語学部上級講師等を経て，2016年に博士の学位を取得。現在北海学園大学工学部准教授。

主な著書・編書『エクスプレス・スペシャル 日本語の隣人たち』（中川裕監修，白水社 2009），Тематический словарь и разговорник северного (седанкинского) диалекта ительменского языка. (『イテリメン語北部方言語彙・会話例文集』大阪学院大学，2003），Эсхлэны'н эмүэ'л и лано'н. Ительменские сказки и рассказы из Седанки-Оседлой. (『イテリメンの語り：セダンカ・オセードラヤ村から』北海学園大学，2020)



【目次】

はじめに

凡例

図表

第1章 序論

- 1.1. 本書の目的と構成
- 1.2. イテリメン語の概況
- 1.3. 研究の背景
- 1.4. 本書で使用するデータ

第2章 イテリメン語文法概説

- 2.1. 類型論的特徴
- 2.2. 音韻構造
- 2.3. 音節構造とアクセント
- 2.4. 形態論
- 2.5. シンタクス
- 2.6. ロシア語の影響について
- 2.7. イテリメン語文法概説：まとめ

第3章 動詞の屈折

- 3.1. 全体の構造
- 3.2. 人称・数
- 3.3. 法
- 3.4. テンスとアスペクト
- 3.5. 態
- 3.6. 屈折接辞：まとめ

第4章 動詞語幹の分類と派生法

- 4.1. 動詞語幹の分類
- 4.2. 動詞から動詞の派生
- 4.3. 動詞以外からの動詞の派生
- 4.4. ロシア語由来の動詞
- 4.5. 動詞語幹の分類と派生法：まとめ

第5章 準動詞

- 5.1. 先行研究における分類と本書の記述について
- 5.2. 進行中の行為・状態の主体
- 5.3. 名詞修飾形
- 5.4. 形動詞
- 5.5. 副動詞
- 5.6. 不定詞
- 5.7. 準動詞：まとめ

第6章 否定

- 6.1. 否定構造の概要
- 6.2. 接尾辞型
- 6.3. 定動詞型
- 6.4. 否定の構造と対称性
- 6.5. 否定と現実性
- 6.6. 否定：まとめ

第7章 総括

参考文献

あとがき

索引